

# 聖 せいあい 愛

VOL.45

2011.12.8  
発行

ケアマンション聖愛ホーム

〒871-0162 大分県中津市大字永添2744  
TEL 0979-23-2255 FAX 0979-23-2250



社会福祉法人  
九州キリスト教社会福祉事業団  
いずみの園



## 星の輝きを見つめて

いずみの園 チャブレン  
堤 健生

「イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」 新約聖書 マタイ福音書2章

夜空を彩る満天の星。その動きを日夜調べて世の真理を探究していた人達が、キリスト様のお生まれを星の動きに知らされて遠く旅して参りました。満天の星空は周りが真っ暗でなければ見えません。街の灯が騒々しいようでは見えません。イエス様のお生まれの知らせを星空に見出した彼らも、きつと真っ暗闇の中にいて、ただ星の輝きに目を凝らして星の語りかけに耳をかたむけていたのでしょう。

私達は自分を無にして尋ね求めるとき真理の星の輝きがきらめいてくるのです。その輝きがこの私に真理の言葉を語りかけてくる声を聴くことが出来るのです。そしてその時、この占星術の学者たちが為したように真理の言葉に答えていく者となるのです。

「私たちは他の人との比較によってではなく、神に対してどのように答えているかによって判断されるのです。」

ピーターソン

私達の毎日は雑音に満ち満ちています。何と多くの事柄で心を一杯にしてしまっていることでしょうか。周りが明るすぎて星の輝きが見えません。

クリスマスをお迎えるこの今、そっと星空を見つめてみませんか。この私に語りかける真理の声に耳を傾けて、応えていくものでありたいものです。

神様の恵みが皆さまのうえに豊かにありますように。

## 上野シズ子様94歳 骨折からの復帰!

上野シズ子様は8月某日の深夜、居室内で転倒され、左の肩を骨折される。病院受診をするも状態を考慮すると温存療法が最適、入院されることなく帰園される。痛みで顔がゆがみ、動くことも辛く、歩行困難。最悪のことが頭をよぎる。急遽、いずみの園ショートステイを利用となる。

1ヶ月程介護を受ける中で痛みも軽減してくると、不安はあるものの聖愛ホームへの生活復帰への意欲が見え隠れする。本人、家族との話し合いを進め、帰園していただくことを決定。それから帰園までの半月間、上野様は更にリハビリに励まれ、我々職員はケアマネと共に通所介護、福祉用具等々関係機関と調整する。

帰園後、しばらくは歩行、生活感覚の不安定が続くも、本人の前向きな姿勢から2週間もすると目覚ましい回復がみられ、全てが安定してきた。

この骨折で要介護3の認定を受けるも、今では左腕はご不自由ながらも杖も使用せず、以前の生活を取り戻されている。

# みんな 支え て 復 帰 !

入居者 上野シズ子様



聖愛ホーム 生活相談員 堂本 高雄

骨折後、全ての場面に関わってきましたが、正直、復帰は難しいと思うことも度々ありました。その都度、「帰りたい。帰るよ」との声に、鬼になって励まし、リハビリを促していきました。そんなある日、リハビリがてら聖愛ホームまでの歩行を行ったときに、ホーム長の顔をみて「帰ってきたいよ～!もう、元気になりました。お願いします」職員一同、活気に満ちた声に仰天し、気持ちを新たにしました。帰園後には共に暮らす入居者の励ましや協力など温かい手が差しのべられ、生活復帰後の中で多くの場面で「きずな」「支えあい」を見る事ができました。上野様のあきらめない思いが多くの実を結びました。



### 応援メッセージ いずみの園ショートステイ

正直なところ、ホームに戻る事は困難ではないかと思ったこともありましたが、上野様の「早く帰りたい」という熱意が奇跡的な回復を引き起こしたのが、聖愛ホームに戻りみるみるうちに歩行状態も良くなり、今では杖も歩行器も使わずに生活されていると聞いています。

念願がなったホームへの復帰。どうかこれから先、転倒することなくいつまでもお元気で生活が送れるよう願っています。

リハビリ課 理学療法士 高倉 哲也

### 応援メッセージ ヘルパーステーション

ご自身の頑張りと、入居者の皆様の温かい励ましが加わりお元気になられ、毎朝のヘルパー訪問の度に、嬉しく感じています。

ホームヘルパー 和間 亜紀



### 応援メッセージ 介護保険サービスセンター

骨折後に、特養でロングショートを利用された際には、生活全般に渡り手厚い介護を受ける状態でした。高齢でもあり、以前の聖愛での暮らしにはもう戻れないと誰もが思ったかもしれません。しかし今、聖愛で骨折前と同じように、本人の好むライフスタイルで過ごす事が出来ているのは、上野様の、身体の残存機能能力、環境適応能力の高さだと思えます。それらの経緯に一番、騒がず、歓喜せず、マイペースで過ごしているのは他ならぬ上野様ご本人! 94歳に敬意を表します。

介護支援専門員 藤田 恵子

### 応援メッセージ クリニックいずみ

クリニックいずみへ診察に来られ、娘様の前でも、鬼塚ドクターへ「鬼塚先生が、大好きじゃー、先生の顔を見に来た。…」と、猛アタック! さすがの鬼塚ドクターもタジタジです。やはり、そのチャーミングなパワーが骨の栄養素になると教えられました。骨折を諸共せず回復したのは、本当に驚かされました。体調に気を付けて、聖愛ホームでの生活を楽しんで下さいね。

看護師 河端ハツエ

### 応援メッセージ デイサービス ふかんど館

今回、自宅で骨折の報告を受けた際、驚きと共に今後の独居生活継続が出来るのか心配しました。そんな中、骨折から1ヵ月半で今まで通りの生活が始まり、デイサービスにも復帰されました。復帰直後はご高齢に加え、骨折による生活の不自由もあり、このままの生活が出来るのかと不安でした。しかし、左腕は今までの様には動きませんが骨折前と同じ位、元気にデイサービスの時間を過ごされています。そんな上野様の前向きな姿は他のご利用者の勇気になっています。

生活相談員 市川 朋克

### 応援メッセージ ご家族

「ご迷惑を掛けました。良いようにして下さい」と言う気持ちがありましたが、まずは、聖愛ホームに帰れないだろうな…無理だろうな…と考えていましたが、各担当者の皆さんに色々協力していただき、帰る事ができ元気なれて良かったです。感謝しています。

佐藤智子様



# 入居して一年を迎えて

ーわたし流ライフスタイルー

明渡 文子様

昨年の10月に入居してから一年以上たちました。入居前から中津教会に行っていたので、聖愛ホームの中に知っている方が多く、比較的にムースに慣れることができ、楽しく過ごしています。

出外泊も自由なことから、今までのお付き合ひも変わりなく続けることができています。

現在、私は自宅を残しての入居なので、週末は自宅に外泊することが多いのですが、この生活パターンは私にとつてベストの選択だったと思っています。亡くなった主人の「田舎暮らしをしたい」という突然の提案で30年前、大阪から何のつてもない上毛町に越してきました。歳をとつてから新たな生活基盤や人間関係を築いて行つた、思い出さき第2の故郷です。これから先高齢になってひとり暮らしすることの不安を除くため、聖愛ホームに入居しましたが、自己管理の上下



また、私は花や植物が大好きで、自宅の庭でガーデニングを楽しんでいました。聖愛ホームに入居して安心を得ることは、ガーデニ

囲んで会話が弾むひと時がとても楽しいです。聖愛ホームでの生活に慣れてからは、思いもかけず大正琴のクラブに入り、80の手習いに奮闘しています。音楽の習いごとなど初めてです。ひとりで弾くのもやっとなのに、ディサービスの皆さんの前で演奏したり、入居者発表会に出たりと信じられないような体験をしています。

さらに新たな喜びとして、入居者礼拝や朝拝会礼拝で多くの先生方のお話を聞けることがあります。自分の心と向き合うと同時に、震災で被害を受けられた方々の復興をお祈りするなど大切な時間となっています。

## 聖愛ホーム年齢で若々しく!

年金支給は65歳、後期高齢者は75歳、喜寿は77歳、米寿は88歳…高齢者を定義するためにいろいろな年令があります。聖愛ホームでは90代になって初めて名実共に「お年寄り」として敬われます。



敬老の日には90代の方々にプレゼントをして健やかに長寿を迎えておられるお祝いをします。今年は石井綾乃様が「お年寄り」の仲間入りをしました。これからも健やかに充実した日々を送れるよう、宇野千代さん(99歳まで生涯現役で活躍した小説家)デザインのおしゃれなスカーフをプレゼントしました。

聖愛ホームは60歳から入居が可能ですが80代までは若手から中堅といったところ。車の運転をしたり、クラブ活動や行事に参加したり、準備や片づけに関わってくださったりと、聖愛ホームの日常を支えて下さっています。

皆様、これからもお元気で!



敬老祝会プレゼント

プレゼントのスカーフがお似合いです。

③ せいあい

## 第13回いずみの園フェスタ

10月22日、前日の雨天から、奇跡的にお天気に恵まれ、多くの皆様に来園していただきました。

今年は初めて聖愛ホーム内でバザーと手作り品販売を行い、活気あるにぎわいのうちに終了しました。多くの方のご支援に感謝いたします。ありがとうございました。



入居者ボランティアのみなさんが、喫茶コーナーをきりもりしました。

## 東日本大震災復興を祈って

入居者、職員で協力して頑張った第13回いずみの園フェスタでの聖愛バザーの収益の一部を被災地復興の一助となればと思い、リースなどのクリスマス用品を岩手県宮古教会へお送りしました。



# 地域の皆様のご協力に 心から感謝申し上げます

◆8月8日

マリーゴールドコンサート  
チェロ、ピアノ、フルート、  
独唱のアンサンブルコン  
サート。優雅なひと時を過  
ごしました。



◆8月31日 中津市ふれあい出前講座  
「中津市民病院の現状と新病院の概要」

**健康教室**



中津市民病院事務総務課、前  
田良猛課長が平易な言葉でわか  
りやすく講義をして下さいまし  
た。質問や要望に丁寧に対応し  
て下さり、有意義な学習会とな  
りました。

## <ホール作品展>

- 8月 北部公民館折り紙教室の皆さんによる「創作折り紙作品展」
- 9月 岡田幸正様による「写真展」
- 10月 厨房職員 木下孝子さんによる「きめこみパッチワーク展」
- 11月 北部公民館絵画教室の皆さんによる「水彩画作品展」

2011年9月1日

## 開設16周年を迎えました

### 開設記念礼拝

多田一三理事長による「健康に気をつけて、  
いつまでも元気で、みんなで仲良く聖愛ホームで過  
ごして下さい。」というメッセージが心に響きました。



### 開設記念食事会

洋食のフルコースを堪能  
し開設16周年を皆さんで  
お祝いしました。

### 開設16周年記念「二胡演奏会」

中国の伝統的な擦弦楽器、  
二胡の素敵な音色を楽し  
みました。

二胡演奏：牧 佐代子様  
ピアノ伴奏：島谷 克子様



震災復興の力になりたく  
て『ぎずな』を合言葉に義  
援金を募り送金、復興支援  
ポロシャツを購入し着用  
又、今回は被災した教会へ  
クリスマスプレゼントを贈  
りました。これからはま  
す寒さが厳しくなります  
が被災地の皆様の平安と復興  
を祈ります。  
(T・D)

あしがき



もうすぐクリスマス!



## アドベントを迎えて

みんなで館内をきれいに飾り  
つけました。習った折り紙  
やスマイルクラブ(手芸クラ  
ブ)で作ったアドベントカレ  
ンダーも飾り作品発表の場  
にもなりました。カレンダーの  
窓を一つずつ開け全部開いたらクリスマスです!



## 今後の行事

- 12/10 第10回クリスマスふれあいコンサート
- 12/20 クリスマス礼拝・愛餐会
- 12/21 クリスマス祝会・中津教会の  
皆さんによるキャロリング

## クリスマス折り紙教室

11月7日に、川本美智江様、  
永井春子様を講師にお招きし  
て、とっても素敵なクリスマ  
スツリーとティベ  
アを作りました。  
クリスマスに飾る  
のが楽しみです。



## 入居者発表会

文化の日を記念して、クラブ活動で  
の日頃の成果や、個人の特技を披露  
しました。この日にむけてのクラブ  
ごとの練習は充実したものがあ  
ります。2度出演する方もいま  
した。発表を終えた時、清々しい笑  
顔がはじけます。観客の皆さんも  
歌と一緒に口ずさむなど、みんな  
で楽しいひと時を過ごしました。



## 9月の防災訓練

万一の時は避難が最優先ですが、  
設備されている消火ホースの勢  
いを確認するため、3階バルコ  
ニーで実際に屋内消火栓を使  
って放水を体験しました。訓練  
によって防災意識が高ま  
りました。